

CASBEE[®] 新築[簡易版]

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-新築(簡易版)2010年版 使用評価ソフト: CASBEE-NCb_2010(v.1.8)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	伊根中学校	階数	地上2F
建設地	与謝郡伊根町字平田430番地	構造	RC造
用途地域	伊根町伊根浦伝統的建造物群保存	平均居住人員	500人
気候区分		年間使用時間	2,300時間/年
建物用途	学校	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2014年8月 予定	評価の実施日	2013年8月1日
敷地面積	12,379 m ²	作成者	㈱日匠設計 森田恭介
建築面積	2,365 m ²	確認日	
延床面積	3,229 m ²	確認者	



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.3 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

☆☆☆☆☆

標準計算

①参照値	100%
②建築物の取組み	92%
③上記②以外の	92%
④上記+	92%

(kg-CO₂/年・m²)

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 3.4

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.3

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.4

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 3.8

LR のスコア = 3.1

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.2

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.0

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.1

3 設計上の配慮事項		その他
<p>総合 周辺景観との調和に配慮することで、表情豊かな建物となるよう計画した。</p>		
<p>Q1 室内環境 室内換気を十分に行い、内装使用材料も規制対象外材料を使用することで、シックハウス対策を行った。</p>	<p>Q2 サービス性能 機能性を重視し、使いやすく、安全で安心な建物となるよう計画した。</p>	<p>Q3 室外環境(敷地内) 周辺環境に配慮し、地域環境との調和を図った。</p>
<p>LR1 エネルギー 再生材を積極的に採用し、資源の再利用効率を高めるように努めた。</p>	<p>LR2 資源・マテリアル 節水型便器及び音姫(不要な水使用の削減)を採用した。</p>	<p>LR3 敷地外環境 敷地外の環境に悪影響を及ぼさないよう、建物配置等に配慮した。</p>

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される